



Myボランティアサークル交流会 in 山形県青年の家



今回の「MYボランティアサークル交流会」では、幼児や児童のいる親子を対象に、各ボランティアサークルが考えた企画を基にクリスマス会を実施しました。「二十四孝PART II」（大石田町）と「nicoこえ」（県青年の家）が参加し、情報交換、クリスマス会の準備、運営等を通して交流を図りました。

アイスブレイク

一緒に活動する仲間とつながり、MYボラの輪を広げます。どんどん笑顔が増えていき、参加者の心の距離が縮まってきました。



講師 だいちゃん



だいちゃんの合図“サンタクロース”で集まった7人。さて、なぜ、7人なのでしょう？



手持ちの1文字カードを合せてより長い言葉を作ります！



「どうだ?!」と言わんばかりに作った言葉を発表。



スペシャルカードがあるらしい。慎重にカードを選んでいきます。



次は、力を合わせてよりたくさんの言葉を作ります。

ボランティアサークル紹介

他サークルの活動を知ること
で、自分たちの世界を広げます。
同じボランティアサークルでも、活動する内容が異なり、新たな発見があったようです。



二十四孝PART II (大石田町)



nicoこえ (青年の家)

MYボラ座談会



ボランティアに取り組む仲間たちと、取り組んできてよかったこと、悩みや課題、これからのことについて思いを分かち合いました。

- ★取り組んできてよかったこと★
 - ・「ありがとう」と言ってもらえて嬉しい。喜んでもらえる。
 - ・幅広い年齢や今まであったことのない人と出会えた。
 - ・自分がやりたいことを企画できる。幅広い活動に取り組める。
 - ・（学校や職場・家の他に）3つ目の自分の居場所ができた。
 - ・コミュニケーション力、発言力が高まった。
 - ・誰かの優しさに触れられる。

- ★活動してみたの悩みや課題等★
 - ・やってみようと思えるけれど、実現までの過程が難しい。
 - ・サークル会員を増やしたい。人が集まらない。
 - ➔部活動や家の用事などで、都合がつかないことも多い。
 - ☹️全体の人数が多くても集まらないこともある。
 - ・移動手段がないと、参加できない。
 - ・人数が多く、やりたいこともバラバラでひとつに向かえない。
 - ➔モットーは“やりたいことをやりたい時にやりたい人でやる”



- ★今後、やってみようこと★
 - ・季節のイベント企画（ハロウィン🎃等）
 - ・地域食堂のボランティア
 - ・高齢者の方々とのふれ合い（多世代交流）
 - ・テレビでの周知や多くの人への周知活動

- ・保育施設等への訪問
- ・居場所づくり
- ・新しいことに挑戦
- ・ボランティア推進

みんなで準備!

自主企画の内容を共有し、クリスマス会の準備スタート!!!
企画部・案内部・装飾部に分かれ、協力して準備を進めました。



プログラムを考案中!



歓迎ボード作成中!



折り紙で装飾作り中!



大人も挑戦!



読み聞かせの練習中!



ピアノ伴奏の練習中!



得意のバルーンアート!



歌に合わせた振り付けの練習中!



歌に合わせた振り付けの練習中!



最終打合せの様子!



急遽追加された手遊びの練習!



急遽追加された手遊びの練習!

プログラムを考える中で、急遽、手遊びを追加したり、ピアノ伴奏で歌うことになったりしましたが、それぞれのもっている力を生かし、より楽しいクリスマス会を創り上げようとする姿が見られました。

クリスマス会本番!

いよいよ本番! みんなで準備した企画をいざ、実践です!



風船でリラックス

トナカイさんとサンタさん登場!

曲名: 「赤鼻のトナカイ」



振り付けをみんなで覚えました!

伴奏もバッチリ!!

次はオリジナルクリスマスツリー作りに挑戦!



材料はクリアファイル

優しくサポート

完成

親子で楽しんでます



クリスマスツリーオブジェに願い事を飾りました

みんなで手遊び

完成



読み聞かせ

聞きやすいようにゆっくりと...

あった

宝探し

隠されている宝を探しました

お見送り! またね~

参加してくれてありがとうございました!! みんな笑顔



今日の振り返り

1日を共に過ごした仲間と振り返る...

- ・他サークルとやっていると新しい発見や学びがあることで自分たちも進化していけるのかなと感じた。
- ・楽しくクリスマス会を企画運営を協力しながらすることができた。今後の活動につなげていきたい。
- ・二十四孝PART II が得意なバルーン、アイデア溢れるクリスマスツリーを組み合わせながら、今回ならではの企画が作れて勉強になった。起こりうる問題を考えながら企画する難しさを体感できた。
- ・もっとたくさんのサークルと一緒にできると、さらに活発な意見交換になって、自分達もさらに頑張っていこうという意欲につながるため、もっとたくさんのサークルを呼んで交流したい。



・企画を考えて、流れを計画して実際に行うことはとても難しく、準備をしっかりと行ってもまだまだ足りない部分を感じてしまったり、もっと考えておくべきところがあったと反省の点が多く出た。しかし、クリスマス会自体はとても楽しく自分たちで進めていくからこそその自由さと楽しさを感じられると思った。自分ができていなかった部分は沢山あったが、次の機会でもっとたくさんのことをできるようにまた活動をしていきたい。



各サークルのメンバーが、自分たちの活動について語り合う姿、クリスマス会運営で自分たちの力を発揮する姿に、今後の活動への期待が膨らみました。村山教育事務所では、今後も、青少年の自主性・主体性を大事にしたボランティア活動を推進していきます。

つながる! 広がる! MyボラのWa!!